

第5回 庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会 次第

■日時 平成30年7月18日（水）15：00～

■場所 庄原市役所 5階 第1委員会室

1. 開会

2. 議事

(1) アンケート結果の分析について

資料1

(2) 市民会館・庄原自治振興センターを改修と想定した場合のプランについて

資料2

(3) 今後の検討委員会のスケジュールについて

資料3

3. 閉会

アンケート結果の分析について

平成 30 年 1 月に市民会館に関する市民アンケート、高校生アンケートを実施し、その後、市民会館、庄原自治振興センター両施設の指定管理者及び主要利用団体へアンケートを実施した。その集計及びクロス集計を実施した結果、以下のとおりの分析となった。

1. 市民会館の利用者と未利用者について

過去 5 年間ににおける市民の市民会館を利用した人の割合は 50.9%、未利用者の割合は 45.0%でほぼ半々の結果となった。このことにより、利用者（ユーザー）の意見だけではなく、未利用者（オーナー）の意見も尊重する必要があると考える。

2. 今後の整備について

今後の整備については、利用者、未利用者ともに、他の場所への移転等は希望せず、現在の建物を改修すべきとの意見が 7 割を超えている。このことにより、現地での改修を実施すべきであると考ええる。

3. 改修の規模について

利用者は、「耐震補強して壊れた箇所を随時修繕していく（36.9%）」という意見よりも、若干「大規模改修する（38.0%）」という意見が多い。

未利用者は、「耐震補強して壊れた箇所を随時修繕していく（43.2%）」という意見が「大規模改修する（25.3%）」という意見より多い。

「耐震補強して壊れた箇所を随時修繕していく」という意見は、「できるだけ改修費用を抑えるべきである」と捉えられる。利用者と未利用者の差を考慮し、改修規模、費用等を慎重に判断する必要がある。

4. 改修の内容について

主な意見として、ホールの座席、トイレ、和室、ロビーの暗さを改修してほしいとの意見が多いため、これらを中心に改修すべきであると考ええる。いずれにせよ、耐震補強工事は必須である。

5. ホールの座席について

現在の座席は、幅が狭くて座りごちが悪いという意見が多く、また、今後整備する場合の座席数は、現在と同程度確保してほしいという意見が多い。

一方で、現在の建物を改修すべきとの意見は7割を超えており、これは、現在の建物のままでの改修を意味していると考えられる。

現在の建物、ホールを現在の大きさのまま、同じ席数を確保した上で、席幅を広くし、座りごちをよくするという考えは矛盾しており、全ての希望を叶えることは不可能である。

これに対する対応策は、**資料2**の改修プラン（案）において説明する。

6. 今後充実していくべきその他の公共施設について

利用者、未利用者ともに医療施設の充実を希望する意見が最も多い。利用者は38.2%、未利用者においては57.5%で半数を超えている。

第2位以降について、利用者は、文化施設が第2位(27.8%)、集会施設が第3位(27.4%)となっており、市民会館、自治振興センターへの関心が高いことがわかる。

未利用者は、子育て支援施設が第2位(28.1%)、保健・福祉施設が第3位(26.3%)となっており、利用者とは別の傾向がある。

このような利用者、未利用者の意見のバランスも考慮した上で、今後の整備を考える必要がある。

7. アンケート結果から考えられる方向性

以上のアンケート結果から考えられる市民会館及び庄原自治振興センターの整備の方向性は次のとおりである。

- 現在の建物を耐震改修し活用していく。
- 建物の利用は耐用年数を迎えるおおむね20年後までを想定し、20年後を見据えた改修を行っていく。
- 改修については利用者の意見により、ホールの座席、トイレ、和室の洋室化、ロビーを中心に改修するが、市民会館の未利用者の意見を見ると「耐震補強して壊れた箇所を随時修繕していく」という意見が多く、できるだけ改修費用を抑えた改修を行う。
- 改修については、できるだけ効果的な改修となるよう利用者・管理者の意見を聞きながら改修箇所・改修内容等を決定していく。

市民会館・庄原自治振興センターの主なアンケート回答の集計及びクロス集計の結果は次ページ以降となった。

市民会館・庄原自治振興センターアンケート集計 及びクロス集計の結果について

1. 現在の市民会館・庄原自治振興センターについて

(回答対象：市民、高校生、両施設指定管理者、両施設利用団体)

- ・過去5年間での市民の市民会館利用割合は50.9%、未利用者45.0%でほぼ半々となった。(市民アンケート結果(以下、**市**) P.4)
- ・ホールの座席への不満(広さ、座りごち)が非常に多く、トイレの洋式化、ロビーを含めた建物の暗さに対する不満も多い。
- ・設備全体が老朽化しているとの指摘が多く、和室の使い勝手の悪さを指摘する意見が特に多い。
- ・駐車場、エレベーターは比較的好評価である。

(以上の結果は、**市**P.5～12、高校生アンケート結果(以下、**高**) P.5～9、市民会館指定管理者アンケート(以下、**市指**) 問1・2、庄原自治振興センター指定管理者アンケート(以下、**自指**) 問1・2、市民会館利用団体アンケート結果(以下、**市利**) P.3～8、庄原自治振興センター利用団体アンケート結果(以下、**自利**) P.3～8)

2. 市民会館・庄原自治振興センターの整備について

(1) 市民会館の今後担うべき役割について

(回答対象：市民、高校生、市民会館指定管理者、市民会館利用団体)

- ・「市民の多様な文化芸術活動の発表の場」が一番多く、高校生については「著名な歌手や演奏家のコンサートなどの開催の場」も同様に多い。

(**市**P.13～17、**高**P.10、**市指**問3、**市利**P.9)

(2) ホールの座席数について

(回答対象：市民、高校生、市民会館指定管理者、市民会館利用団体)

- ・「現在と同程度の客席数」を望む意見が一番多い。

(市民54.7%、高校生55.3%、市民会館指定管理者100%、市民会館利用団体53.8%)

(**市**P.18～19、**高**P.11、**市指**問4、**市利**P.9)

(3) ホールでの鑑賞で大切なもの

(回答対象：市民、高校生、市民会館利用団体)

- ・「ゆとりがあって快適な席」を望む意見が一番多い。

(市民54.7%、高校生73.9%、市民会館利用団体33.3%)

(**市**P.20、**高**P.12、**市利**P.10)

(4) 今後の整備について

(回答対象：市民、高校生、市民会館指定管理者、両施設利用団体)

①現在の建物を維持するため、耐震補強を行い、壊れた箇所を随時修繕していく

市民 39.1% 高校生 39.1% 利用団体 25%

市民と高校生では一番回答が多い。

②現在の建物を大規模改修する

市民 31.3% 高校生 35.6% 市民会館指定管理者 利用団体 62.5%

上記(4)①より比率は減るが、3割以上の希望がある。また、利用団体では一番回答が多い。

③新たな場所へ建替える

市民 13.0% 高校生 7.1% 利用団体 4.2%

いずれの回答グループでも少ない。

④その他・無回答

市民 18.5% 高校生 18.2% 利用団体 4.2%

(以上の結果は、**市**P. 21～24、**高**P. 13、**市指**問 5、**市利**P. 11、**自利**P. 9)

(5) 自由意見について

(回答対象：市民・高校生・両施設指定管理者・両施設利用団体)

- ・市民からは、「会館の活力に注力すべき」が 44.1%で最も多く、カフェスペース等の設置を望む声もある。
- ・高校生からは、コンサート、映画、地域行事等の「イベント」に関する意見が多い。
- ・指定管理者及び利用団体からは「中ホール(200～300人程度)の新設」を望む割合が 25.0%となっており、続いて防音化してありピアノ常設のスタジオを希望する割合が 12.5%となっている。

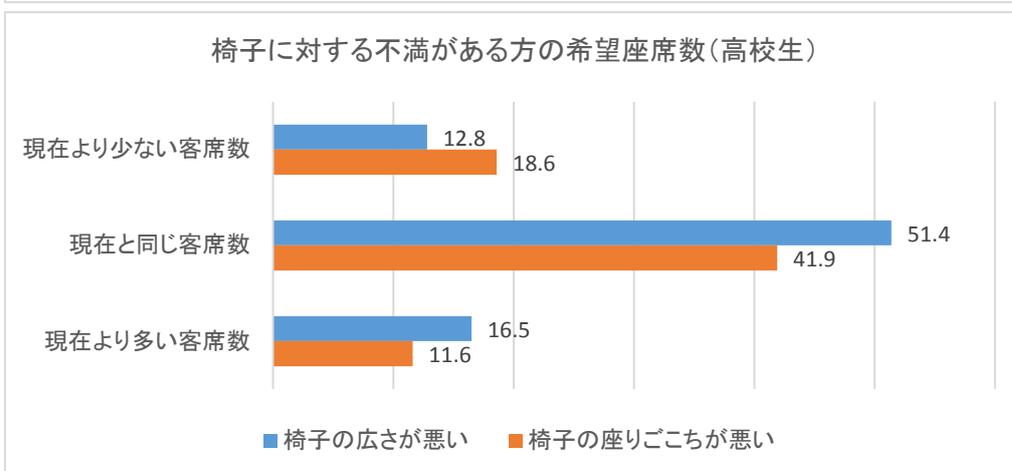
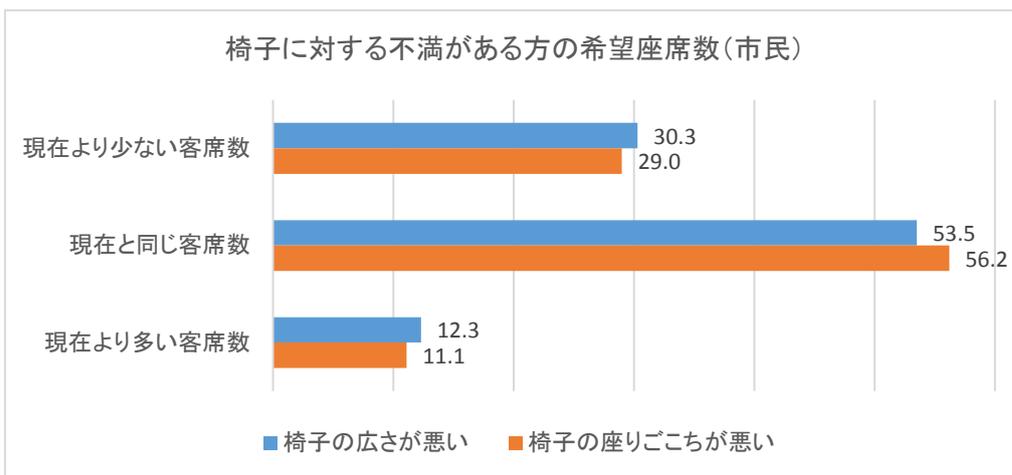
(**市**P. 25～33、**高**P. 14、**市指**問 6、**自指**問 3～4、**市利**P. 11～13、**自利**P. 9～10)

(6) アンケート回答の詳細について (クロス集計、単位：%)

(回答対象：市民・高校生)

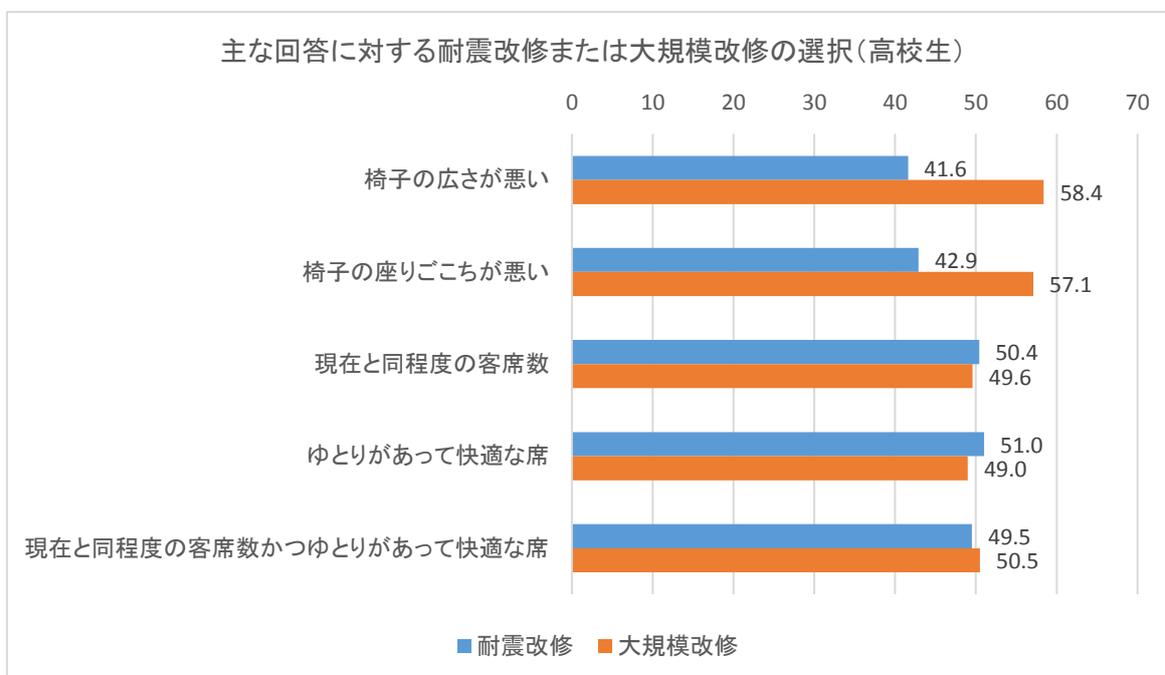
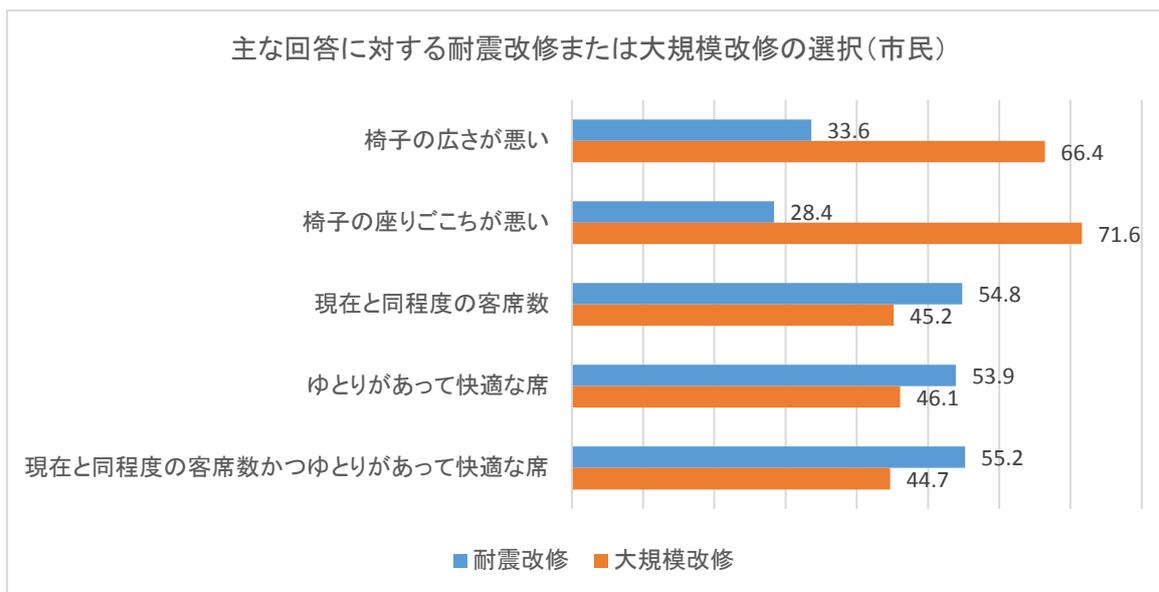
① 椅子の広さ・座りごちへの不満がある方の座席数に対する回答について

- ・市民アンケート、高校生アンケートともに椅子に対する不満がある方は多いが、席数は市民、高校生ともに、同程度欲しいと思われる。



②主な回答に対する耐震改修または大規模改修の選択について

- ・市民アンケートにおいて、椅子に対する不満がある方は、65%以上が大規模改修を選択している。席数に関しては、いずれも耐震改修が若干上回っている。
- ・高校生アンケートにおいても、椅子に対する不満がある方は、大規模改修を選択された方が半数を超える。席数に関しては、耐震改修、大規模改修で拮抗している。

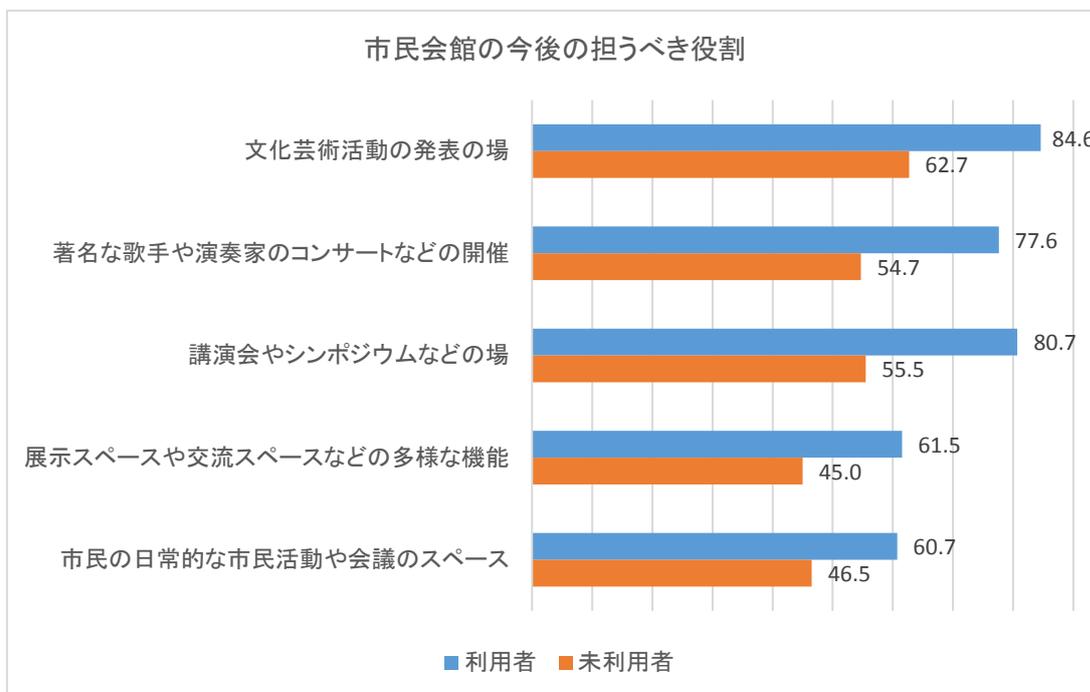


③過去5年間の利用者と未利用者のアンケート結果について

(回答対象：市民のみ。高校生は未利用者が少ないため省略)

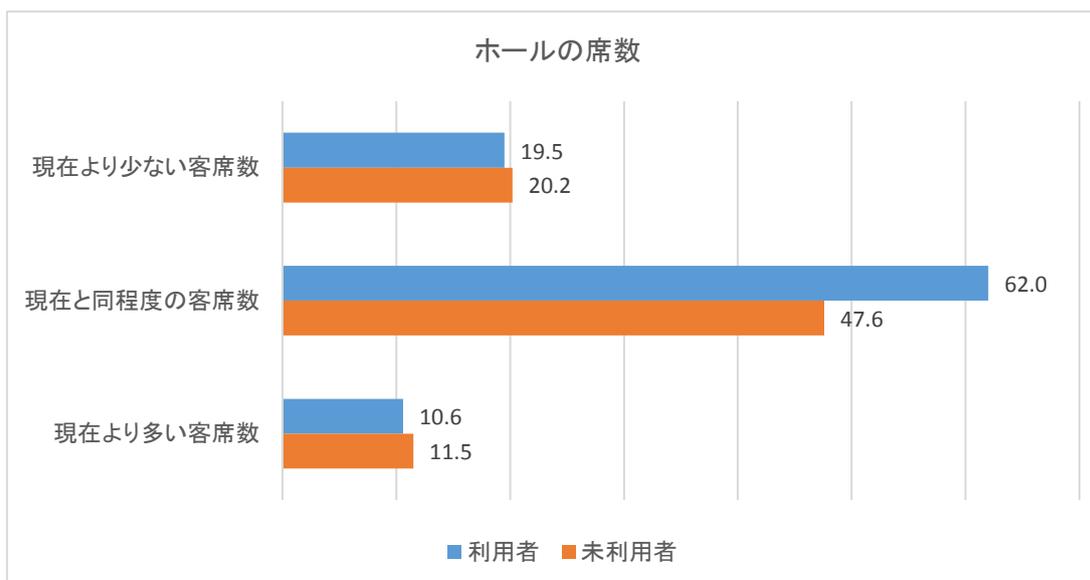
㊦市民会館の今後担うべき役割について

- ・利用者、未利用者共に「市民の多様な文化芸術活動の発表の場」が一番多い。



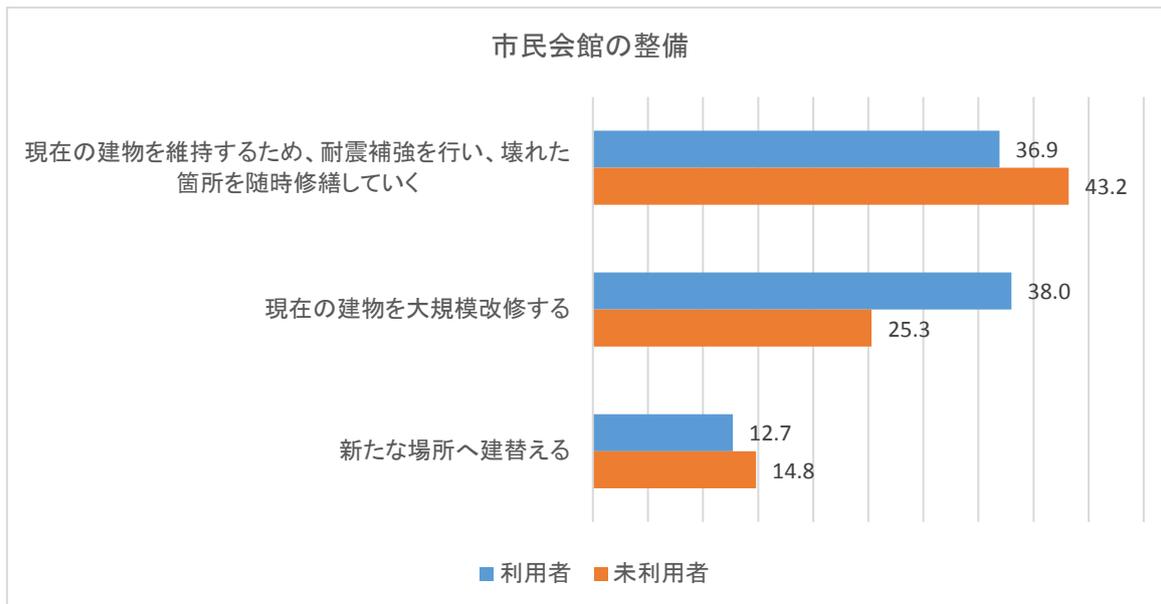
㊧ホールの座席数について

- ・利用者、未利用者共に「現在と同程度の数」が一番多いが、割合は未利用者の方が少ない。



㊦今後の市民会館・庄原自治振興センターの整備について

- ・利用者は耐震改修 36.9%、大規模改修 38.0%でほぼ同じである。
- ・未利用者は耐震改修 43.2%、大規模改修 25.3%で耐震改修希望が多い。
- ・新たな場所への建て替えは、利用者、未利用者ともに 15%未満で少数となっている。



5. 今後充実していくべきその他の公共施設について

(回答対象：市民・高校生) (市 P. 34～47、高 P. 15～19)

(1) 市民アンケート結果

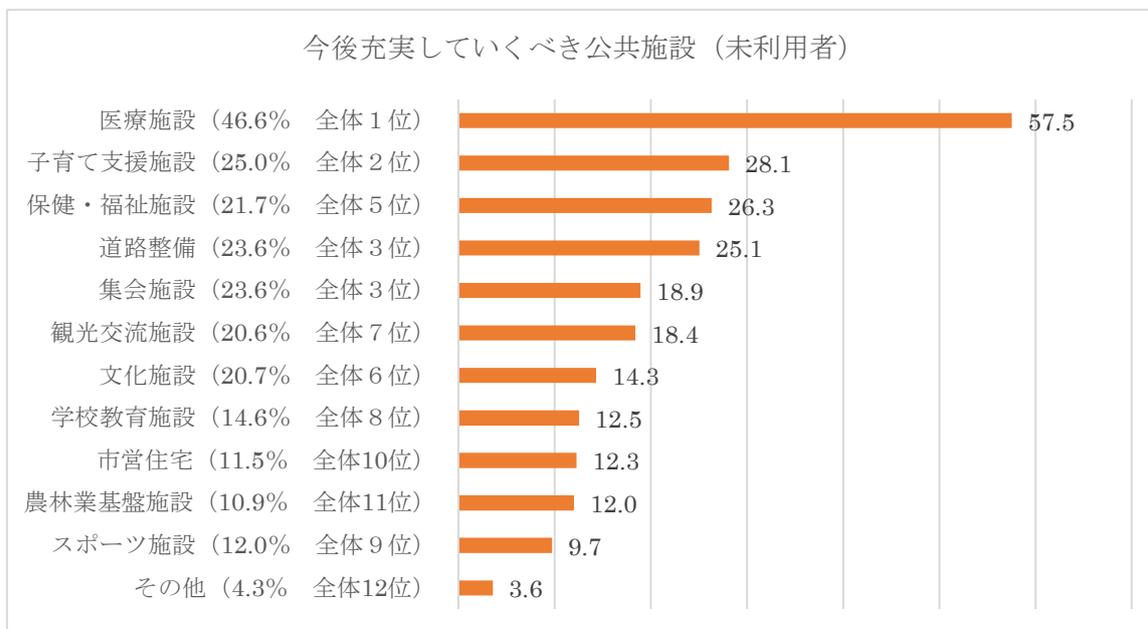
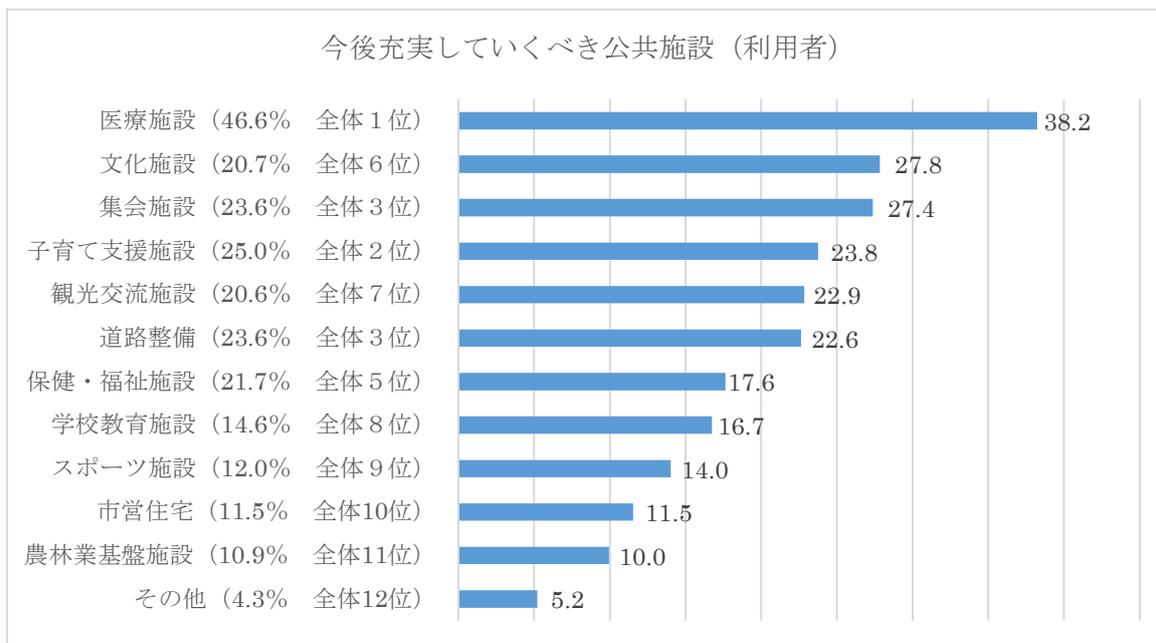
- ・医療施設の充実と回答した割合が 46.6%で最も多く、子育て支援施設が 25.0%で続いた。
- ・市街地の公共施設に関しては、「気軽に利用しやすい施設」の回答が 17.9%、施設の集約化、統廃合を求める意見が 13.8%となった。

(2) 高校生アンケート結果

- ・スポーツ施設の充実と回答した割合が 28.9%で最も多く、観光交流施設が 26.1%で続いた。
- ・市街地の公共施設に関しては、目立った回答はなかった。

(3) 市民会館・庄原自治振興センターの利用者、未利用者別の意見について

- ・利用者、未利用者ともに医療施設の充実を希望する意見が最も多い。
- ・利用者は第2位が文化施設、第3位が集会施設で関心が高いことが分かる。
- ・未利用者は、第2位が子育て支援施設、第3位が保健・福祉施設で、文化施設、集会施設の充実希望は、利用者に比べ低い数値となっている。



市民会館・庄原自治振興センターを改修と想定した場合のプランについて

※以下のプランは、平成27年度に試算した金額を基に作成した、概算の金額です。
 また、実際の工事費は、今後整備の方向性を決定し、工事内容の詳細な積算を行うため、金額は変動することが想定され、この金額での実施を約束するものではありません。

庄原市民会館改修工事は、以下の通り改修することとして試算。

(以下、プランA・B・C共通改修工事内容：耐震補強・ホール・館内・建築・電気・衛生・空調の各工事)

| | |
|------|---|
| プランA | 座席は現在と同じ席数・同じ席幅(926席・横幅440mm)で取替えるのみで試算。 |
| プランB | 座席はステージ側はゆったり席(横幅520mm)で現状562席から468席へ、後側はシートの取替え(横幅440mm)で席数は現在と同じ364席で試算。合計832席。 |
| プランC | 座席数を現在の横幅440mm・926席から横幅520mm・778席で試算。 |

庄原自治振興センター改修工事は、以下の通り改修することとして試算。

| | |
|------|--|
| プランD | 最小限の改修(2階研修室の洋室化・実験自習室改修・談話室改修)で試算。 |
| プランE | 現在の要望どおり中ホール2階建(920㎡)で試算。 (工事内容:200名程度の中ホール・多目的ホール・事務室・倉庫・トイレの新設、既存施設の改修など) |
| プランF | 中ホール平屋建(460㎡)で試算。 (工事内容:200名程度の中ホール(仕切り等により会議室併用)、既存施設の改修など) |

| 市民会館改修プラン | 庄原自治振興センター改修プラン | 合計 |
|----------------------------|---------------------------|----------|
| プランA (市民会館926席) 約5億4千万円 | プランD (最小限改修) 約4千万円 | 約5億8千万円 |
| | プランE (中ホール2階建) 約4億6千万円 | 約10億円 |
| | プランF (中ホール平屋建) 約2億5千万円 | 約7億9千万円 |
| プランB (市民会館832席) 約5億6千万円 | プランD (最小限改修) 約4千万円 | 約6億円 |
| | プランE (中ホール2階建) 約4億6千万円 | 約10億2千万円 |
| | プランF (中ホール平屋建) 約2億5千万円 | 約8億1千万円 |
| プランC (市民会館778席) 約6億円 | プランD (最小限改修) 約4千万円 | 約6億4千万円 |
| | プランE (中ホール2階建) 約4億6千万円 | 約10億6千万円 |
| | プランF (中ホール平屋建) 約2億5千万円 | 約8億5千万円 |

庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会スケジュール（案）

| | ■委員会 | ■備考 |
|----------|----------------|---|
| 平成29. 9月 | 【第1回委員会 9/27】 | ・委員会設置主旨 ・施設の現状と課題 ・現地視察 他 |
| 12月 | 【第2回委員会 12/7】 | ・アンケート内容 等 |
| 1月 | | ・アンケート調査票発送（上旬） ・アンケート回収（下旬） |
| 平成30. 2月 | 【第3回委員会 2/16】 | ・関係者意見聴取 （指定管理者・利用団体） |
| 3月 | 【第4回委員会 3/23】 | ・関係者意見聴取（利用団体） ・アンケート結果報告 等 |
| 7月 | 【第5回委員会 7/18】 | ・アンケート結果分析 ・庄原市民会館、庄原自治振興センターの方向性検討（プラン提示・各委員の意見交換等） |
| 8月 | 【第6回委員会 8月中旬】 | ・庄原市民会館、庄原自治振興センターの関係者意見聴取 ・庄原市民会館、庄原自治振興センターの方向性検討（各委員の意見交換等） |
| 9月 | 【第7回委員会 9月上旬】 | ・市民会館、庄原自治振興センターの方向性に関する各委員の意見発表と集約 |
| 9月 | 【第8回委員会 9月下旬】 | ・市民会館、庄原自治振興センターの方向性意見集約結果の確認 |
| 11月 | — | ・庄原市民会館、庄原自治振興センター整備方針決定 |
| 12月 | — | ・市議会へ報告 |
| 平成31. 1月 | 【第9回委員会 1月下旬】 | ・市民会館、庄原自治振興センター以外の市街地公共施設のあり方検討 |
| 2月 | 【第10回委員会 2月下旬】 | ・市民会館、庄原自治振興センター以外の市街地公共施設のあり方意見集約 |